

「十全の守護」

〈幸せの神名を唱えよう〉

プログラムのねらい

十全の守護の説き分けを、書いて・見て・話すことにより理解していく

- 十全の守護の説き分けを筆記具でなぞって確認する
- 色塗り・絵解きを通して、十全の守護の神名と説き分けを理解し覚える

プログラムの構成

			時間配分
《導入（起）》	《おしゃべりタイム》	自己紹介	5 分
	《本読み》	十全の守護の拝読	5 分
《気づき（承）》	《おはなし》	親神様（元の神・実の神）について	10 分
	《演習》	十全の守護 説き分けの筆写	10 分
《学習（転）》	《演習》	十全の守護 色塗り・絵解き	
		・色塗り	25 分
		・色を塗った絵解きの発表	10 分
《結び（結）》	《おしゃべりタイム》	色塗り・絵解きをした感想	25 分
		全体発表	10 分
	《おはなし》	まとめ	20 分
			（2時間）

※開会、閉会、つなぎの司会時間を含まないプログラム正味の時間

各項目の時間は目安です。当日の流れ、実情に応じて調整してください

準備物品

- 自己紹介シート（受講者資料 コピーして使用）
- 十全の守護 筆写シート（布教二課にて受渡し コピーして使用）
- 十全の守護 絵解きシート（ ” 班数分コピーして使用）
- 色鉛筆もしくは水性ペンセット（班数分用意：1 セット 12 色程度）

プログラム進行表



総合司会コメント



講師のお話



本読み



おしゃべりタイム



演習

時間	項目	プログラム	進め方とポイント	備考
		開会 親神様、教祖、祖霊様遥拝 オリエンテーション 講師・スタッフ紹介 本日のテーマ・教材紹介 プログラムのねらい プログラムの概要	○開始時刻、終了時刻の予告。 ○受講者とスタッフで作上げる講座であるので協力を呼びかける。	
		「十全の守護」については、皆さんも別席や教会でおはなしを聞いておられることでしょう。 では皆さん。10の神名をちゃんと覚えていらっしゃいますか？ (2～3つ、神名を受講者に聞いてみる) 10の神名を全部覚えるのはなかなかですよ 今日は10の神名を覚え、さらにそこから一歩進み、私達の体や私達の住んでいる世界にどんなお働きがあるのか、どんなご守護を休みなく頂いているのかを、皆さんと楽しく学んでいきましょう。		
		それでは自己紹介シートを使って各班で自己紹介をしてください		
5分		〈おしゃべりタイム〉 ・自己紹介 ・自己アピール <体の良いところ・体自慢>	○自己紹介シートを使用する。 ※班別司会者から自己紹介を始める。 (例を示す)	
		ありがとうございました。 皆さん存分にご自分の魅力をアピールされていましたね。 いろいろな話が聞こえてきました。 親神様の十全の守護は、自分の体だけにとどまらず、この世界のあらゆるもの全てにお働き下さっています。 ここで、知っている方もよく知らない方も、一度十全の守護の説き分けを読んでもみましょう。		

5 分		〈本読み〉 ・筆写シートを用いて	○ゆっくり拝読する。 ○総合司会に合わせ大きな声で。	
		大きな声でのご協力、ありがとうございました。 こうやって大きな声を出せるのも空気と喉のご守護のお陰ですね。 それではここで講師よりおはなしを聞いて、十全の守護について内容を少し掘り下げていきましょう。		
10 分		〈おはなし〉 ・親神様について	○十全の守護はわれわれの日常生活とどう関わっているのかということをわかりやすく話をする。	
		ありがとうございました。 十全の守護とは、私たちの暮らしにとっても身近なお働きなのだということがわかりましたね。 それでは、先程読ませて頂いたシートを筆写してみましょう。		
10 分		〈演習〉 ・十全の守護の説き分けの筆写 ※ 筆写シートを使用 文字を筆記具でなぞる	○筆写作业が不得意な方がいる場合は、班別司会者が手伝う。 ○筆写シートはおみやりにもって帰ってもらう。	
		【総合司会：演習中のアナウンス】 ○ 時間内で書けるところまでで結構です。 残ったらご自宅にて完成させて下さい。 ○ 声に出して読みながら書くと効果的ですよ。 ○ 是非自宅のいつも見えるところ、例えば冷蔵庫の扉などに貼って下さい。		
		いかがでしたでしょうか。 読むだけでなく書く作業をすることで、また一味新鮮な気持ちで「十全の守護」の説き分けに触れて頂けたのではないのでしょうか。 では次に、十全の守護の絵に色をつけてみましょう。そして、その後できたものを班内の皆さんに説明をして頂きます。 身の内の働き、世界での働きに色を塗って下さい。 いろんな色を使って仕上げていきましょう。		

25 分		〈演習〉 ・色塗り	○絵解きシート 10 枚を使用。 ○1 人 1 枚。 ○早く終わった人から残りの絵を塗る。 ○班全体で 10 枚を仕上げる。 ○間に合わなかった場合は、持ち帰ってやって頂いてもよい。 ○既存の絵以外にも、ご守護と感じたものがあれば、新たに足しても良い。	
10 分		〈演習〉 ・絵解き	○自分で色を塗った絵の説明。 ⇒紙芝居の要領で。 ○一人当たり 1 分くらいで説明。 ⇒裏面を読んで頂く。 ○色が塗れてないものも発表する。 ○塗りながら、気づいた点、思ったことなどもあれば発表する。 ○自分で作ったものは持って帰っていただく。	○受講者自身が説明することで、教えがより頭に入りやすくなる。
		いかがでしたでしょうか。 十全の守護について、お互いにより理解が深まったのではないのでしょうか。 普段から十分にご守護を頂いている私達は、それが当たり前のように感じがちです。皆さんはいかがでしたでしょうか？ それではここで絵解きをしてみて気づいたこと、疑問に感じたことなどを班の皆さんと意見交換してみましょう。		

25 分		〈おしゃべりタイム〉 ・色塗り、絵解きをした感想	○気付いた、感じた神様の働き。 ○その他感想。 ⇒難しかったところ ⇒自慢したいところ ⇒工夫したところ	
		ありがとうございました。 ここまでのプログラムを通し、皆さんそれぞれに新発見、再発見があったのではないのでしょうか 十全の守護について、筆写・絵解き・おしゃべりを重ねた中で、気づいたこと、披露したいことを各班から発表して頂きます。		
10 分		〈全体発表〉		
		ありがとうございました。 それでは、最後に講師からまとめのお話をして頂きます。		
20 分		〈おはなし〉 ・まとめのおはなし	○十全の守護の総論、説き分けの説明。 ○自身の体験を交えて、十全の守護について分かりやすく話す。 ○毎日読む事の大切さ。	
		本日はご参加いただきましてありがとうございました。 （次回の参加案内があれば渡す） 最後に一つお知らせがございます。今日、皆さんと共に勉強させていただいた内容以外にも、もっとお道の教理について学びたいという方のために、おぢばでは「三日講習会」というものが開催されています。詳しくは、所属の会長さんにご相談ください。 本日は、これで終了いたします。ありがとうございました。		
		閉会 親神様、教祖、祖霊様遥拝		

《自己紹介シート》

私は（ ）から来ました（出身地や教会名）。

（ ）の（名前 ）と申します(※)。

【自己アピール】

・体の良いところ・体自慢をお書き下さい。

【※の例】

1. 年齢の割に“目が良い”〇〇（名前）です。
2. “力作業”が得意な〇〇（ 〃 ）です。
3. つやつやのお肌が自慢の〇〇（ 〃 ）です。

----- キリトリ -----

《自己紹介シート》

私は（ ）から来ました（出身地や教会名）。

（ ）の（名前 ）と申します(※)。

【自己アピール】

・体の良いところ・体自慢をお書き下さい。

【※の例】

1. 年齢の割に“目が良い”〇〇（名前）です。
2. “力作業”が得意な〇〇（ 〃 ）です。
3. つやつやのお肌が自慢の〇〇（ 〃 ）です。

親神様の十全の守護

※開催の際は、B4 版の原紙をお渡し致します。

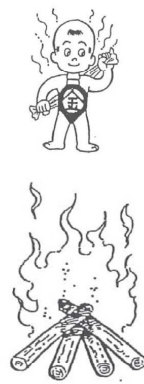
くにとこたちのみこと

人間身の内の眼うるおい、 世界では水の守護の理



をもたりのみこと

人間身の内のぬくみ 世界では火の守護の理



くにさづちのみこと

人間身の内の女一の道具 いぢ 皮つなぎ 世界では万つなぎの守護の理 いぢ



月よみのみこと

人間身の内の男一の道具 いぢ 骨つぱり 世界では万つぱりの守護の理 いぢ



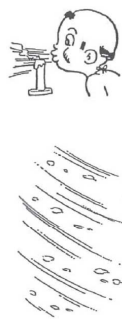
くもよみのみこと

人間身の内の飲み食い出入り 世界では水気上げ下げの守護の理



かしこねのみこと

人間身の内の息吹き分け 世界では風の守護の理



たいしよく天のみこと

出産の時 親と子の胎縁を切り 出直しの時 息を引き取る世話



をふとのべのみこと

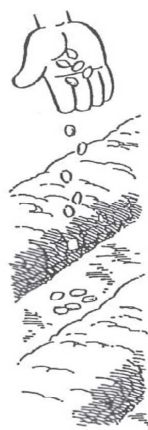
出産の時 親の胎内から子を引き出す世話



世界では引き出し一切の守護の理

いざなぎのみこと

男雛型 ひながた 種の理



いざなみのみこと

女雛型 ひながた 苗代の理 なわしろ



〈十全の守護 ～幸せの神名を唱えよう～〉 筆写サンプル

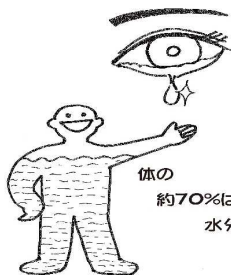
くにとこたちのみこと

雨、海、月の働き



地球上の約70%は水

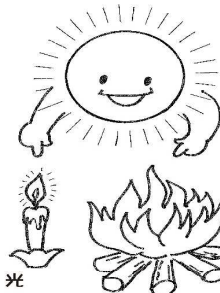
世界では



体の
約70%は
水分

人間身の内では

をもたりのみこと



光

熱

世界では



ぬくみ（体温）

人間身の内では

くにさづちのみこと

結婚



結び

世界では



女の道具

皮膚 つなぎ

人間身の内では

月よみのみこと



草木が立つ

建物（骨組み）を支える

世界では



男の道具

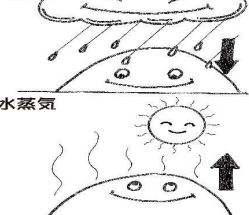
つっぱり

つっぱり

人間身の内では

くもよみのみこと

雨



水蒸気

水気上げ下げ

世界では

飲み食い



出入り

人間身の内では

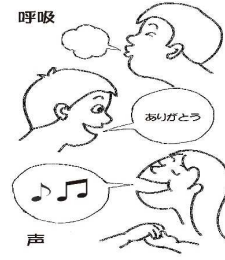
がしこねのみこと



風

空気

世界では



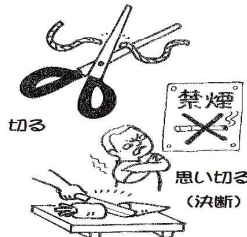
呼吸

ありがとう

声

人間身の内では

たいしょく天のみこと



切る

思い切る
（決断）

世界では

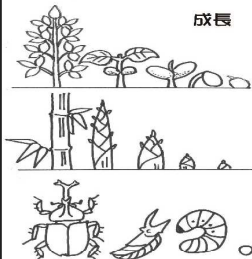


胎縁を切る

愚を引き取る（出直し）

人間身の内では

をふとのべのみこと



成長

世界では



胎内から子を引き出す世話

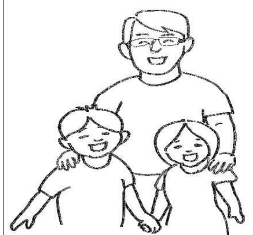
発育

人間身の内では

いざなぎのみこと



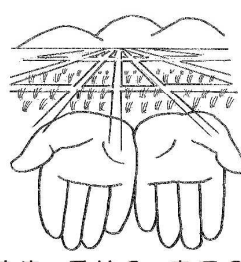
種の働き



男 父

男
雛型

いざなみのみこと



苗床 受ける 育てる

苗代
の働き



女 母

女
雛型

をもちりのみこと

世界でのお働き
○火の働き
○太陽の働き
○熱光

人間身の内(体内)のご守護
○ぬくみ(体温)
○体温を保つ働き

心づかい ○隔てなく照らす温かい心

くにとこたちのみこと

世界でのお働き
○水の働き
○目の働き、潮の満ち引き
○地球上の約70%は水

人間身の内(体内)のご守護
○眼の働き―体の潤い
○体の約70%は水分

心づかい ○相手に自分を合わせる
○陰で尽くす、真実の心

月よみのみこと

世界でのお働き
○こぼれの働き―まき
○建築
○立木

人間身の内(体内)のご守護
○男の道具
(男性の生殖器官)
○骨つぼみ
○骨格

心づかい ○立ち上がる
○勢い

くにさづちのみこと

世界でのお働き
○つなぎの働き―結び
○金銭
○縁談
○商売
○入学
○就職
○家族

人間身の内(体内)のご守護
○はの道具
(女性の生殖器官)
○皮(なき)皮(膚)
○つめ
○毛髪

心づかい ○つなぐ、つなぎあわせる
○柔らかさ
○粘り強さ

かしこねのみこと

世界でのお働き
○風の働き、空気
○大豆の対流
○人間相互のコミュニケーション

人間身の内(体内)のご守護
○息吹き分けの働き
○呼吸・言葉・声
○聞
○聞き分け、聞きわけ

心づかい ○分け隔てのない心
○優しい言葉づかい
○ていねい、親切

くもよみのみこと

世界でのお働き
○水気上げ下げの働き
○水、水蒸気、雲、雨、雪
○循環

人間身の内(体内)のご守護
○飲み食い・出入りの働き
(消化・吸収・排泄)

心づかい ○柔軟性
○好き嫌いしない、平等

をふとのべのみこと

世界でのお働き
○引き出し―切の働き
○人間、動物、植物の成長
○發明、発見、アイデア

人間身の内(体内)のご守護
○出産の時、親の胎内から
子を引き出す世話
○身長、爪、髪が伸びる
○発達、発育

心づかい ○喜びを引き出す(喜ばす)
○相手を認める、ほめる

たいしょく天のみこと

世界でのお働き
○切る―切の働き
○仕切る
○分ける
○区切る

人間身の内(体内)のご守護
○出産の時、親との胎内を切る世話
○出産の時、身を引き取る世話
○細胞分裂

心づかい ○断ち切る
○決断する
○思い切る

いざなみのみこと

○苗代(土壤)
○苗代(土壌)

○はな型
○はな型
○女の働き

心づかい ○育てる、受け入れる

いざなぎのみこと

○種
○種

○男型
○男型
○男の働き

心づかい ○真っ直ぐ、素直